

— ひとと時代をつなぐ —

めぐりと紫波

創刊号

発行日:平成 20年 5月 28日

発行者:NPO 法人紫波みらい研究所

TEL 671-2244 FAX 671-2243

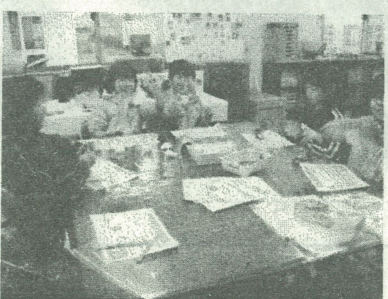
めぐりと紫波の発刊にあたって

紫波町が進めている環境と福祉のまち「循環型まちづくり」を知っていますか。

このたび、NPO 法人紫波みらい研究所は、紫波町の委託事業として「循環型まちづくり」の取り組みを町民のみなさまにお知らせする「めぐりと紫波」を隔月で発行します。

各分野で取り組んでいる市民団体やお店、企業などの活動を多くの方に知っていただくことにより、住民参加による「循環型まちづくり」がいっそう進展するものと考えています。また、紫波町の自然環境・歴史・伝統・文化を見直し、町民が自信と誇りを持って生活できる環境づくりをみんなで考える場づくりをめざしています。

編集の協力団体として、この誌面でグループの紹介をしている「紫波トークセッション」が参加しています。



さきの号より(1)水産部

皆様の声を募集しています!

めぐりと紫波では、よりよい誌面づくりのために、みなさまからのご意見・ご感想を募集しています!

紫波町の団体やお店、事業所など、誌面の許す限りご紹介していきます!

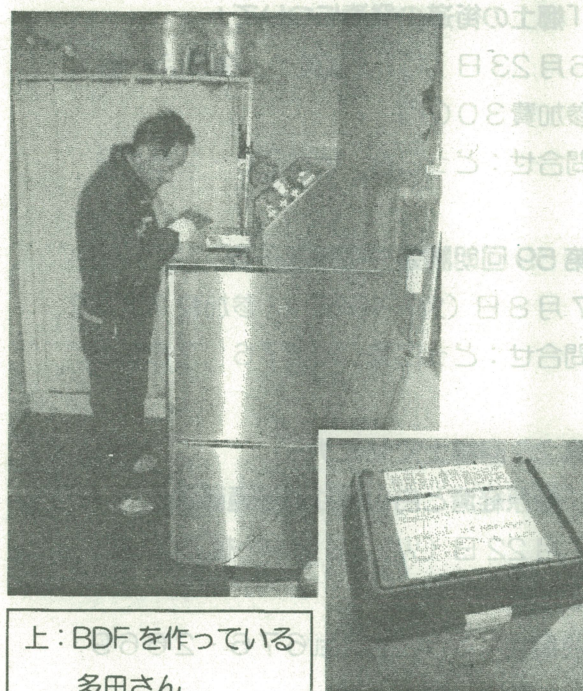
情報をお待ちしています!

ひと紹介 「佐蔵」 多田正紀さん



BDFは地球を救う!!

BDF(バイオディーゼル燃料)という言葉を知っていますか。使用済みの食用油を精製してディーゼル車の燃料にするもので、化石燃料の大量消費により地球温暖化問題が深刻化し、また、軽油価格が高騰している現在、最も注目を集めている燃料です。



上: BDFを作っている多田さん
右: 食用廃油回収箱

多田さんは、地球の温暖化問題が言われるようになった頃から、自分にも何かできないかと考え、行き着いたのがこのBDFの事業でした。

リースで設置した機械で始め、現在はまだ事業ベースとして採算が取れていない状況ですが、今後多くの人々の間に環境問題に対する意識が高まり、一台でも多くの車に利用してもらえたら、と話しています。

BDFの原料は、スーパーの惣菜屋などから出るものの他に家庭から出る使用済み食用油も回収しています。家庭から出る油は、ペットボトルに入れて各地区公民館や役場庁舎などに設置した回収箱に入れておくと回収されますので、資源の有効活用と地球温暖化防止のため、みなさんのご協力をお願いします。

※しょうゆなどが混じると、使い物にならなくなるので、ペットボトルは中をすすいできれいにしてから油を入れるようお願いします。
上記バイオディーゼル燃料を利用したい方は、下記までお問合せください。

紫波町桜町字本町 14-5「佐蔵」

TEL. 676-2415

グループ紹介

紫波トークセッション

この町に点在する元気な、意欲のある活動している人たちがそれぞれに情報共有でき、顔の見える交流ができること。みんなの望みを共有・共感できるものに高めていけたら...

どなたでも参加できます。まちづくりに関する生きた情報・率直な疑問・前向きな提言。意見交換などを自由に話し合う場で趣味のグループや団体の方、歓迎です。

トークセッションにおでんせ!

とき: 毎月第3または第4金曜日、午後7時開催

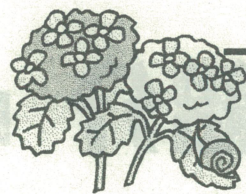
ばしょ: 権三ほーるまたはなんバザホール

かいひ: 200円



交流会の様子

町内イベント情報



■野村胡堂生誕 125 周年入館者 20 万人達成記念

▽6月8日(日) 昼の部 13時30分～
夜の部 18時30分～
映画会記録映画「いのちの作法」
入場料600円・完全前売・昼夜 120 枚限定
問合せ：野村胡堂・あらえびす記念館
Tel676-6896

■第 58 回朗読会

▽6月10日(火) 19時～・権三ほーる
参加費300円
問合せ：どっこ舎 Tel676-2669

■キャンプインストラクター養成講習会

▽6月14日(土)～15日(日)
岩手県立県南青少年の家(胆沢郡金ヶ崎町)
参加資格 18 歳以上の男女・定員先着 30 人
参加費7000円+テキスト代2000円
問合せ：岩手県キャンプ協会 小笠原
Tel672-3833



■食の安全性について

▽6月18日(水) 13時～15時
中央公民館・参加費無料
問合せ：日詰公民館 Tel671-1642

■ふれあいコンサート(チャリティコンサート)

▽6月19日(木) 19時30分～
中央公民館集会室・入場無料
問合せ：日詰公民館 Tel671-1642

■「800 年の昔を今に」

▽6月19・26日(木) 9時30分～11時30分
中央公民館
問合せ：吉田祐倫 Tel671-6881

■第 31 回うたごえ倶楽部トントンカン

▽6月22日(日) 14時～16時
参加費200円
問合せ：権三ほーる
Tel676-5796



■第 25 回郷土史セミナー

「郷土の街道の発達について」
▽6月23日(月) 19時～・権三ほーる
参加費300円
問合せ：どっこ舎 Tel676-2669

■第 59 回朗読会・権三ほーる

▽7月8日(火) 19時～・参加費 300 円
問合せ：どっこ舎 Tel676-2669

■第 26 回郷土史セミナー

「藤原経清と白山神社別当遠藤家」
▽7月22日(火) 19時～・権三ほーる
参加費 300 円
問合せ：どっこ舎 Tel676-2669

■不来方高校コンサート

▽7月26日(土) 15時～・入場無料
問合せ：赤沢小学校 Tel672-3284

■夏休み子ども講座

「電気であそぼう」ソーラーカーづくり
▽7月29日(火) 10時～12時・中央公民館
参加費 700 円・定員 20 人(小学生 4 年以上、3 年以下は父兄同伴)
問合せ：日詰公民館 Tel671-1642



イベントピックアップ

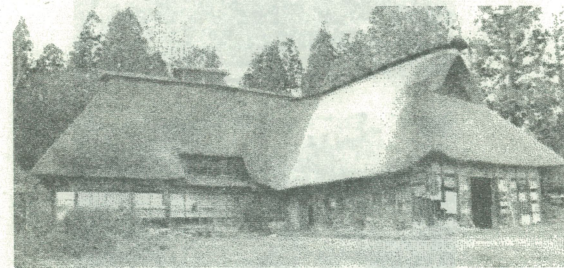
紫波町指定文化財

やどこ 武田家住宅の「屋床」式

「武田家住宅」は、紫波町に残る南部曲り家です。貴重な茅葺屋根を守ろうと、武田家と武田家住宅を守る会が中心となって、平成 15 年から葺き替え作業を行い 19 年 10 月に終了しました。

今回おこなわれる「屋床」式は茅葺屋根の葺き替え工事落成を祝う、昔からのしきたりです。ぜひ皆さんもお祝いに参加してください。完成した茅葺屋根をご案内いたします。

日時 6月8日(日)
午後 1 時 30 分～3 時頃
場所 武田家住宅
紫波町上松本字境 89
内容 「屋床」式
神楽・鹿踊りの奉納
問合せ先 武田家住宅を守る会
事務局鷹木 019-673-6483



第6回 かとうじ山の音楽会

賢治・嘉藤治に捧げる恒例の野外音楽会

賢治童話劇「いちょうの実」

「流浪の民」大合唱

その他 コーラス・ピアノ演奏など

日時 6月14日(雨天翌日) 午後 1 時開場

主催 かとうじ山の音楽会実行委員会

場所 水分 ビューガーデン特設ステージ

入場 無料



紫波町平泉関連史跡連携協議会

観光案内所を開設!

場所 環境・循環 PR センター内

TEL671-2245 FAX671-2243

差し上げます 「紫波歴史浪漫」パンフレット

ご覧ください ホームページ完成!

<http://s-hiraizumi.sakura.ne.jp>

・各方面のご支援、ご協力により着実に進んでいます。

・平泉関連史跡って

“知らなかった。”こんなにあったの!!

驚きの声がたくさん寄せられています。

行雲流水(1)ー循環のまち

NHK衛星第2放送、朝8時から、卓球の四元奈生美選手が四国八十八カ所を歩いてまわる「てくてく旅」が放送されているが、この中継車にはハイオ燃料が使用されているとのこと。旅行く先々の住民から使用済みの食用油を寄せて貰い、それを6時間かけて精製し(精製装置も車に搭載して、中継車の燃料を賄っているという。画面で見ると、かなり多くの食用油が順調に集まり、これまでに燃料何リットル分が寄せられたなどと時々紹介している。

▼以前、どこかの温泉町で専用のステーションを設置し、旅館や料亭などが使用した後の揚げ油をそこに持って行く、ということも町ぐるみで取り組んでいると放送されたことがある。精製した燃料は温泉客の送迎車の燃料として、ほぼそれで賄っているということだった。

▼そんな話の折、わが紫波町でも公用車の何台かはハイオ燃料を使用していると聞いた。使用済みの揚げ油を集めているのは知っていたが、それが次の段階でどう、ということ、この号の多田さんの取り組みで具体的に知ることが出来た。

▼アメリカのフッシュユ大統領のやり方は世界的な穀物高騰をもたらしたが、使用済みの油の利用なら、これこそ究極のエコロジー。軽油使用の車両を持っている方の間にこれから広く知られ、どんどん利用されるように、と願う。(三)